

2020年 2月 17日

ももたろう基金～「平成30年7月豪雨災害支援基金」～

第12次(災害支援・復興)助成金申請書

【団体情報に関すること】

ふりがな	まび どっぐらんさぽーたーず		
団体名称	真備ドッグランサポーターズ		
代表者職名	代表	ふりがな	まつもと たつみ
		代表者氏名	松本 竜己
ふりがな	おかやまけんくらしきしまびちょう		
団体住所	〒		
	岡山県倉敷市真備町		
電話番号		FAX	
設立年もしくは活動年数	2020年設立		
スタッフ数	有給スタッフ _____ 名・無報酬スタッフ _____ 名・ボランティア等 <u>4</u> 名		
団体HP(あれば)			
FBページ(あれば)			
CANPAN登録 (原則必須)	<input checked="" type="radio"/> なし ・ あり (星 つ) 【団体ID: _____】		

※申請に関する事務担当連絡先(団体と異なる場合・電話番号については携帯電話など出来る限り直接本人につながるもの)

担当者役職名(必須)	代表	ふりがな	まつもと たつみ
		担当者氏名	松本 竜己
郵送物送付先住所	〒		
	岡山県倉敷市真備町		
担当者電話番号 (極力携帯番号)		担当者e-Mail	

※本用紙に記載の個人情報は、本事業の実施にのみ使用します。

(事務局記入欄)

事務局記入欄 受付日・受付者		事務局記入欄 CANPAN登録	有 ・ なし (予定 月 日頃)
-------------------	--	--------------------	------------------

申請事業の内容

事業名 (プロジェクト名)	真備地区（高梁川）でのドッグラン開設と運営
事業概要 (事業内容を簡単に)	西日本豪雨で被災した方々で犬を飼っておられる方々に、犬と遊べる場を設けるため真備地区（高梁川）にドッグランを開設し利用いただくための活動。（利用は被災した方や真備地区の方以外にも利用いただき、今後の被災時の被害を最小限にしておくためのコミュニティとしても活動する。）
活動（予定）期間	2020年 4月 1日 ~ 2021年 3月 31日
活動（予定）場所	高梁川河川敷（川辺橋下を予定）
受益者数	直接受益者（ 19 名） 間接受益者（ 名）※いる場合
<p>事業の必要性（背景）と目指すゴール（目指す状況）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状や支援対象者の状況（支援対象者との現在の関係性についても必要に応じて記入） ・事業を実施することで被災地や被災者がどのような状況になることを目指すのか <p>・被災から現在：被災時に犬を飼っていた方で、犬を自宅に置いて避難した方の多くは犬を亡くしてしまっており、みなし仮設などを住まいにしている方は、とても犬と暮らすには周囲の状況に配慮・遠慮しながらの生活をされたり、やむなく飼うことを諦めて手放してしまう方も多くおられます。倉敷市自体にドッグランは少ない状況で犬も飼い主も伸び伸びと遊べる場所があまりない状況。また、被災して避難されて方には、犬がいるために避難場所が使えなかったり避難行動を制限されたりなどの苦勞がとても多かった状況。</p> <p>・事業により目指す状況</p> <p>まず、犬と伸び伸び遊べる場所を提供することで、少しでも楽しめる時間を持つていただけるようにし、かつ少しづつでもコミュニティができて、地域の活性化への貢献と共に、ペットと共に防災に取り組めるような会話が広げられることが今後の災害への取り組みとして重要と考えています。共に暮らす犬は家族同様であり、災害時にしっかり避難できることで命をつないでいけるようになることを目指し、少しでも長く継続的な活動にしていきたいと考えています。</p>	

事業の実施内容

・どのようなことをいつ（回数等）やるのか

・ドッグラン開設

ドッグラン：2020年4月から2021年3月で、今回準備しようとしている仮設ドッグランにて

1～2回/週から、できるだけ多くの日数での開設を目標として活動予定。

まずは仮設でスタートして住民へ活動内容少しずつ周知しながら運営体制を整えて開設日数を増やしていきたい。

* 行政とは、現在も調整を進めており、調整は正式な河川の土地貸し出しとともに予算の確保も願う方向で考えようとしております。（仮設のドッグランから最終的なドッグランへ）

* 今回の審査をご承認いただいた場合の仮設ドッグラン運営で活動実績を行政に示し、次のステップへ進みたいと考えております。

イベント：犬の飼い方、マナーなどのイベントを2ヶ月に1回程度開催することを目標として活動予定。

事業の実施体制

・事業実施にあたり、自団体の取り組みメンバーや連携先の団体など

<活動の中心となる体制>

真備ドッグランサポーターズ（運営は現在4名、入会希望者は、約19名（2月9日現在））

代表 松本 竜己

その他運営メンバー 大森（玉島：保健所での保護犬活動ボランティアで、豪雨被災時も被災者のペット預かり活動）

三宅（真備町：ドッグセラピスト）、

松本（真備町：元トリマー）

<活動への協力団体>

川辺地区まちづくり推進協議会

川辺復興プロジェクトあるく

事業実施後の展望

・助成期間後も活動を継続す場合はその内容や展望

・助成期間をもって事業終了の場合は、その後の支援対象者の状況

真備ドッグランサポーターズの立ち上げからおよそ10年から20年継続できることを目標に活動していきたいと考えています。そのためには、大きく立ち上げるというより、小さくても考え方に賛同いただける方たちを中心に丁寧に地道に仲間を増やしていきたいメンバー全員で、運営、協力できるようになっていきたいと考えます。

重要なことは、メンバー内での考え方をそれぞれの意見を聞きながらどのように同じ方向にしていこうかということに注力して集まった方の力をお借りしながら活動していきたいと考えています。

その他

・その他事業実施にあたり、特に必要なことやPR

現在の候補場所を確保するためには、国交省の理解と協力は必須です。まずは、管理できる団体をしっかり立ち上げて草刈りや場所の整備など現実的にしっかりできるところを見てもらいながら、国からの貸し出しについて公式に了解を取り付けていきたいと考えています。(昨年より、国交省との調整を継続しています。)

<国交省との調整経緯概略>

2019年5月	国交省の河川工事説明会で、河原利用の提案を住民にも求めるとの発言
5月	国交省の窓口を探して、ドッグラン提案が現実的かを確認。
6月—9月	提案書を準備して国交省とすり合わせ
6月—9月	並行して仲間集め(私と妹の2名体制から4名へ)
10月、11月	国交省と取り組むべき課題確認 ・しっかり管理できる団体が存在すること。(活動実績含め) ・活動自体が地域から反対される内容ではないこと。 ・河川のため、災害などの有事には施設を撤去できること。
10月、11月	並行して協力いただける団体探し ・川辺復興プロジェクトあるくとの相談を開始。協力いただけることとなる。 ・川辺地区まちづくり推進協議会との相談を開始、協力いただけることになる。 ・ミニクリーンアップ作戦を企画し、倉敷市より真備町民へチラシを配布いただく。
12月	ミニクリーンアップ作戦実施 ・候補場所の草刈りを2回実施 ・10名から20名の参加者が集まってくださいました。
2020年2月	真備ドッグランサポーターズメンバー立ち上げ説明とメンバー募集 ・2回実施 ・約20名の申し込み希望者を確認。 任意団体正式立ち上げ 金融機関での窓口開設 ももたろう基金への申請
3月	国交省への状況説明と4月以降の河川利用申請(予定) 申し込み希望者への状況説明とメンバー正式登録依頼(予定) 河川の整備作業(仮での柵設置に向け)
4月	仮の柵を設置したドッグラン開設

* その後も行政との調整を続けて、正式なドッグランに向けての手続き及び場所整備を継続予定。

※この用紙に収まらない場合は、別紙企画書など添付ください。ただし、概要についてはこのページ1枚にまとめてください。
 実施予算 ※価格の根拠が分かるものなど必要に応じて添付ください。

※収入と支出の合計をあわせてください。 【他助成金で確定しているものも収入に入れてください】

1) 本事業の収入

費 目	金 額	備 考
ももたろう基金（助成申請額）	497,000	
自己資金	60,000	
合 計	557,000	

2) 本事業の支出

費 目（必要な場合算出根拠）	金 額	備 考
仮説ドッグラン（支柱+備品、ネット、看板、横断幕など）	274,000	
整備作業（弁当代、お茶代、什器燃料代、約 20 名作業）	45,000	
草刈作業（弁当代、お茶代、草刈機燃料代、約 20 名作業）	135,000	
避難訓練備品（クレート、リュック）	21,000	
コピー代	12,000	
ロゴデザイン材料費	10,000	
通信費（携帯）	60,000	
合 計	557,000	

■ 他助成金の申請状況（この事業において他助成金申請している場合は記入ください）

申 請 先	金 額	採択状況	備 考
		採択 ・ 未定	
		採択 ・ 未定	
		採択 ・ 未定	

■ 備考欄（その他特記事項があればご記入ください）